

島根県保健医療計画における数値目標の達成状況について

資料2-2

【保健医療計画に記載された数値目標】(平成30年4月策定)

項目	策定時の数値	令和2年3月現在における直近把握数値	目標	備考
①平均寿命	男性 80.13歳 女性 87.01歳 (H23~H27年の5年平均)	男性 80.59歳 女性 87.23歳 (H25~H29年の5年平均)	男性 81.58歳 女性 88.29歳	SHIDS (島根県健康指標データシステム)
②65歳の平均自立期間	男性 17.46年 女性 20.92年 (H23~H27年の5年平均)	男性 17.76歳 女性 21.05歳 (H25~H29年の5年平均)	男性 18.69年 女性 21.06年	SHIDS (島根県健康指標データシステム)
<がん>				
①悪性新生物75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	男 105.2 女 54.9 (平成27(2015))	男 95.0 女 52.6 (平成29(2017))	男 86.1 女 50.4	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
②がん年齢調整罹患率(人口10万対)	胃がん 60.9 肺がん 37.1 大腸がん 51.8 子宮頸がん 8.1 乳がん(女のみ) 73.2 肝がん 18.4 (平成25年集計)	胃がん 57.5 肺がん 43.9 大腸がん 54.4 子宮頸がん 12.3 乳がん(女のみ) 84.2 肝がん 16.1 (平成27年集計)	低減	島根県がん登録
③臨床進行度 早期がん(上皮内がん及び限局)の割合	胃がん 55.1% 肺がん 32.6% 大腸がん 59.3% 子宮頸がん 80.8% 乳がん(女のみ) 60.3% (平成25年集計)	胃がん 61.4% 肺がん 39.2% 大腸がん 55.8% 子宮頸がん 83.1% 乳がん(女のみ) 61.9% (平成27年集計)	各がん 10%増加	島根県がん登録
④全がん5年相対生存率	全がん 62.3% (平成25年集計)	全がん 58.8% (平成27年集計)	増加	島根県がん登録
<脳卒中>				
①脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)	男 43.0 女 22.7 (平成27(2015))	男 37.2 女 19.0 (平成29(2017))	男 42.5 女 21.8	SHIDS (島根県健康指標データシステム)
②脳卒中年齢調整初発率(人口10万対)	男 118.6 女 65.7 (平成27(2015))	男 137.7 女 75.5 (平成29(2017))	男 96.0 女 55.0	島根県脳卒中発症状況調査
<心疾患>				
①虚血性心疾患年齢調整死亡率(人口10万対)	男 16.3 女 7.2 (平成27(2015))	男 14.2 女 5.0 (平成29(2017))	男 15.7 女 6.6	SHIDS (島根県健康指標データシステム)
②平成20(2008)年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(40~74歳)	18.5%減 (平成27(2015))	17.3%減 (平成28(2016))	25%減	特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ
<糖尿病>				
①糖尿病年齢調整有病者割合(20~64歳)	男 5.4% 女 2.2% (平成28(2016))	-	男 5.4% 女 2.2%	特定健康診査、事業所健康診断結果
②糖尿病腎症による新規人工透析導入割合(人口10万対)	13.5 (平成27(2015))	8.6 (平成29(2017))	8.0	わが国の慢性透析療法の現況
③糖尿病有病者でHbA1cが8.0%以上 ^{※1} の者の割合(20~74歳)	男 12.5% 女 10.4% (平成28(2016))	-	男 11.1% 女 7.6%	特定健康診査、事業所健康診断結果

※1 数値目標上は8.0%としていますが、患者個人の治療目標は、年齢、罹患期間、低血糖の危険性等を総合的に考慮して個別に設定する必要があります。特に高齢者については、加齢に伴って重症低血糖の危険性が高くなることに十分注意が必要です。(参考：糖尿病治療ガイド2016-2017)

＜精神疾患＞					
項目	策定時の数値	令和2年3月現在における直近把握数値	目標		備考
			平成32(2020)年度末	平成36(2024)年度末	
①精神病床における入院後3か月時点の退院率	59.6% (平成27(2015))	70.3% (平成30年3月(2019))	69.0%	—	精神保健福祉資料
②精神病床における入院後6か月時点の退院率	77.5% (平成27(2015))	84.9% (平成30年3月(2019))	84.0%	—	精神保健福祉資料
③精神病床における入院後1年時点の退院率	86.7% (平成27(2015))	88.7% (平成30年3月(2019))	90.0%	—	精神保健福祉資料
④精神病床における入院需要(患者数)	2,170人 (平成26(2014))	1,961人 (平成30(2018))	2,009人	1,739人	患者調査、精神障がいに係る島根県独自患者調査等
④-1 精神病床における急性期(3か月未満)入院需要	472人 (平成26(2014))	344人 (平成30(2018))	454人	435人	
④-2 精神病床における回復期(3か月以上1年未満)	386人 (平成26(2014))	472人 (平成30(2018))	382人	371人	
④-3 精神病床における慢性期(1年以上)入院需要	1,312人 (平成26(2014))	1,145人 (平成30(2018))	1,173人	933人	
④-4 精神病床における慢性期入院需要(65歳未満)	512人 (平成26(2014))	390人 (平成30(2018))	407人	306人	
④-5 精神病床における慢性期入院需要(65歳以上)	800人 (平成26(2014))	755人 (平成30(2018))	766人	627人	
⑤地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)	—		112人	300人	患者調査、精神障がいに係る島根県独自患者調査等
⑤-1 地域移行に伴う基盤整備量(65歳未満)	—	—	42人	113人	
⑤-2 地域移行に伴う基盤整備量(65歳以上)	—		70人	187人	

項目	策定時の数値	令和2年3月現在における直近把握数値	目標	備考
＜救急＞				
①救急告示病院の数	25カ所 (平成29(2017))	24カ所	維持	県認定
②救命救急センターの数	4カ所 (平成29(2017))	4カ所	維持	県指定
③救急救命士の数	316人 (平成29(2017))	343人 (平成31((2019))	396人	県消防総務課調査
＜災害＞				
①災害拠点病院の数	10カ所 (平成29(2017))	10カ所	維持	県指定
②災害拠点精神科病院の数	0カ所 (平成29(2017))	1カ所	1カ所	県指定
③DMATの数	20チーム (平成29(2017))	20チーム	22チーム	県登録
＜地域＞				
①しまね地域医療センターへの登録者のうち、県内で研修・勤務する医師数	185人 (平成29(2017))	233人	305人	県医師確保対策室調査
②しまね地域医療センターへの登録者のうち、医師不足地域(松江、出雲以外)で研修・勤務する医師数	60人 (平成29(2017))	70人	100人	県医師確保対策室調査

項目	策定時の数値	令和2年3月現在における直近把握数値	目標		備考
<周産期>					
①周産期死亡数（出産1000対）	3.0 （平成26(2014)～ 28(2016)平均）	3.1 （H28～H30）	全国平均※2 以下を維持		人口動態統計
②産婦人科医師数	65人 （平成28(2016)）	63人 （平成30(2018)）	10%増加		医師・歯科医師・薬剤師調査
（参考） 妊産婦人口に対する産婦人科医の割合 （妊産婦10万対）	1,144 （平成28(2016)）	1,185 （平成30(2018)）	—		（妊産婦数） 島根県周産期医療 調査による分娩数
③小児科医師数	100人 （平成28(2016)）	97人 （平成30(2018)）	5%増加		医師・歯科医師・薬剤師調査
（参考） 小児人口に対する小児科医の割合 （15歳未満人口10万対）	116 （平成28(2016)）	116 （平成30(2018)）	—		（15歳未満人口） 総務省10月1日 現在推計人口
④助産師数	323人 （平成28(2016)）	326 （平成30(2018)）	10%増加		衛生行政報告例
（参考） 妊産婦人口に対する助産師の割合 （妊産婦10万対）	5,683 （平成28(2016)）	6,131 （平成30(2018)）	—		（妊産婦数） 島根県周産期医療 調査による分娩数
<小児>					
①小児科医師数	100人 （平成28(2016)）	97人 （平成30(2018)）	5%増加		医師・歯科医師・薬剤師調査
②かかりつけの小児科医を持つ親の割合	3歳児の親 89.9% （平成28(2016)）	3歳児の親 89.9% （平成28(2016)）	95%		県健康推進課 調査
③小児救急電話相談（#8000）の認知度	4か月児の親 62.0% （平成28(2016)）	4か月児の親 62.0% （平成28(2016)）	90%		県健康推進課 調査
<在宅>					
項目	策定時の数値	令和2年3月現在における直近把握数値	目標		備考
			平成32 (2020) 年度末	平成35 (2023) 年度末	
①訪問診療を実施する診療所・病院数	270カ所 （平成27(2015)）	—	287カ所	304カ所	NDB
②訪問診療を受けている患者数	5,769人 （平成27(2015)）	5,982人 （平成28(2016)）	6,132人	6,496人	NDB
③退院支援ルールを設定している二次医療圏域数	3圏域 （平成29(2017)）	4圏域 （令和元(2019)）	7圏域	7圏域	県医療政策課把握
④在宅療養後方支援病院数	4カ所 （平成29(2017)）	5カ所 （令和2年2月）	7カ所	7カ所	中国四国厚生局把握
⑤在宅療養支援病院数	7カ所 （平成29(2017)）	8カ所 （令和2年2月）	9ヶ所	9ヶ所	中国四国厚生局把握
⑥在宅看取りを実施している診療所・病院数	110カ所 （平成27(2015)）	—	114カ所	118カ所	NDB
⑦24時間体制を取っている訪問看護ステーション数	58カ所 （平成27(2015)）	—	60カ所	62カ所	介護サービス施設・事業所調査
⑧機能強化型訪問看護ステーション数	0カ所 （平成29(2017)）	1カ所 （令和2年2月）	1カ所	2カ所	中国四国厚生局把握
⑨訪問歯科診療を実施する歯科診療所数	102カ所 （平成26(2014)）	109カ所 （平成29(2017)）	106カ所	109カ所	医療施設調査
⑩在宅療養支援歯科診療所数	116カ所 （平成29(2017)）	116カ所 （令和2年2月）	120カ所	124カ所	中国四国厚生局把握
⑪訪問薬剤指導を実施している事業所数	88カ所 （平成29(2017)）※3	139カ所 （平成29(2017)）	91カ所	94カ所	介護データベース

※2 平成28(2016)～30(2018)年の全国平均は、3.4です。

※3 平成27年(2015)の誤り(厚生労働省に確認済み)